

東胆振地方唯一の有床泌尿器科・透析科 専門医複数体制で良質な医療を提供



42床に増床した透析センター。清潔感に満ちている

最新機器を用いた診断治療

“信頼と優しさ”を基本理念に1995(平成7)年に開院、24年目を迎えた。東胆振唯一の有床泌尿器科・透析クリニックで、CTやX線透視診断装置、エコーや内視鏡など、総合病院レベルの医療機器を完備。泌尿器科、内科、腎臓内科、循環器内科など複数医師による良質な診療を提供する。

前立腺肥大症は薬物療法のほか、経尿道的前立腺切除術などの手術を実施。尿路結石症に対し内視鏡を用いたレーザーによる結石砕破治療や体外衝撃波による碎石手術を行う。前立腺がん早期発見のための泌尿器ドックや前立腺がんPSA検診も可能。

併設の腎透析センターは、ベッド数最大42床に拡大。透析患者の高齢化や糖尿病性腎症が増え、サルコペニア



経験豊富で優しいスタッフ



3台の送迎用バスも完備



理事長・院長 林 謙治

札幌医科大学卒業。同大泌尿器科助手を経て北見赤十字病院泌尿器科医長、苫小牧王子総合病院泌尿器科主任科長を経て、1995年苫小牧泌尿器科クリニックを開業。泌尿器科専門医。日本感染症学会認定医。日本透析学会、腎臓リハビリ学会、各会員。インフェクションコントロールドクター、医学博士。主な著書には「人に聞けない前立腺・泌尿器の問題と解決」(ハート出版)などがある。

や日常的活動の低下、下肢の閉塞性動脈硬化症(ASO)で歩行困難になる患者が増加。この予防のため、寝たまま自転車漕ぐ運動ができる「仰臥位用エルゴメーター」など運動療法を導入。患者に好評を得ている。

経験豊富な腎臓内科医も常駐

今年8月から腎臓内科医、透析医の吉村朋真医師が着任。腎臓機能が低下し、血液透析が必要になった際の内シャント設置術は278例、閉塞した血管を拡張する経皮的血管形成術も742例の実績を持つ。透析の導入から維持透析までの治療と、希望により長期入院透析にも対応。自力困難な透析患者には専用車両による送迎サービスも行う。林理事長は「今後は従来以上に慢性腎不全患者さんの透析治療法におけるクオリティオブライフ(生活の質)の向上を図っていきたい」と話した。

医療法人社団 苫小牧泌尿器科・循環器内科

☎(0144)57-0455



苫小牧市明野新町2丁目1番12号
←ホームページはこちらから

泌尿器科・人工透析・内科・腎臓内科・循環器科・皮フ科

診療時間/ [泌尿器科]	平日/8:30~12:00 木・土/8:30~12:00	13:30~17:00
[内科腎臓内科] [循環器科]	月~金/8:30~12:00 土/8:30~12:00	13:30~17:00
[皮フ科]	火・木の午後と土は休診	
	休診日/日・祝日	

